



NAグループが  
なにをおいてもまず  
回復のメッセージを  
運ぼうとしていれば  
ナルコティクス  
アノニマスの努力は  
かならず実を結ぶのだ



このような  
**共通の立場で**  
私たちは  
**全力を尽くす**



WSC 2018

- 
- [NAWSの新しいウェブストア](#)
  - [WCNA 37 最新情報](#)
  - [ゾーナルフォーラム](#)
  - [WSC：親愛なるデリゲートへ](#)



世界中で  
読まれている  
NAの定期刊行

NA Way マガジンは、ナルコティクス アノニマスのメンバーのための雑誌であるため、英語、ペルシャ語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、スペイン語など、さまざまな言語で出版されている。そしてこの雑誌の使命は、ひとりひとりのメンバーに回復とサービスに関する情報を提供することであり、そこには回復にまつわる喜びだけでなく、現在NAで問題となっていることや世界中のNAメンバーのだれにとっても見過ごせないイベントなども取り上げている。編集スタッフはこのような使命に従い、世界中のメンバーが特集記事をはじめとするさまざまな記事を書いて、自由に載せられる雑誌にしようとするのはもちろん、現在行われているサービスやコンベンションに関する情報を提供することにも力を注いでいる。だが、これが定期的にメンバーに届く雑誌であるからには何よりもまず、「アディクトであれば、どんなアディクトであっても、薬物を使うのをやめることができ、使いたいという欲求も消え、新しい生き方を見いだすことができる」というNAの回復のメッセージをたたくことにごそ力を注ぐ

NA World Services, Inc.  
PO Box 9999  
Van Nuys, CA 91409 USA  
Telephone: (818) 773-9999  
Fax: (818) 700-0700  
Website: [www.na.org](http://www.na.org)

NA Way マガジンでは、読者のみなさんが参加されるのをお待ちしている。この年に4回発行される定期刊行物によって、ぜひ、世界中の仲間たちと分かち合いをしていただきたい。回復するなかでの経験はもちろんのこと、NAのさまざまなことに関する意見や、これからの課題などについても投稿をお待ちしている。ただし、投稿された原稿はどれもみな、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社に所有権があるものとされる。購読の予約、編集に対する意見のほか、著作権など実務的なことでの相談は、PO BOX 9999, Van Nuys, CA 91409-9099 にお問い合わせていただきたい。

NA Way マガジンは、NAメンバーがそれぞれに自分で経験したことや自分なりの意見を紹介する雑誌である。ここにはNA全体の意見は表明されていない。そしてもちろん、ナルコティクス アノニマス、NA Way マガジンまたはナルコティクス アノニマス ワールドサービス社によって支持されていると受け取れるような記事も掲載されていない。また、インターネットからNA Way マガジンを配信することを希望する場合には、上記のアドレスに手紙をいただくか、[naway@na.org](mailto:naway@na.org)にEメールをいただきたい。

NA Way マガジン (The NA Way Magazine : ISSN 1046-5421)、NA Way (The NA Way)、ナルコティクス アノニマス (Narcotics Anonymous)、この3つは、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社のトレードマークとして商標登録されている。NA Way マガジンは、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社 (19737 Nordhoff Place, Chatsworth, CA 91311) によって、年に4回発行される。

## 編集者から、ひとこと

「NAの原理によって回復しようとするれば、

自然にNAのことが大事になり、その成長に役立つとするものだ」

『リビンググリーン：ザ・ジャーニー・コンティニューズ』には心に残る文章が少なくないが、これもそのひとつだ。NAのサービスはすべてNAの第一の目的を支えるためだとしても、そうやって役立つことをしていると、わたしたちは個人として成長するだけでなく、ほかの人たちが回復の道を進んでいく助けにもなれるし、それがひいては、NAという集まりがしっかりと発展していくことにも役立つ。まさにNAなくしてわたしたちもないというぐらい、わたしたちにはNAが大切だ。そしてNAメンバーなら、NAの役に立とうとする行為はどれもみな、回復の過程のひとつであることを知らないわけではない。サービスにかかわることが成長の絶好のチャンスになったり（ときには、大変な試練であったり）する。わたしたちが全力を尽くそうとすれば、自信のなさを打破して、自分を信じようとする気持ちが強くなり、アディクションによる自己中心性のつけ入る隙がなくなる。なぜなら、わたしたちは人の役に立とうとしているからだ。わたしたちが善意でNAのサービスに取り組むとき、ひとりひとりに成長するチャンスはいくらでもあり、NAという仲間の集まりはどこまでも進化して確固とした存在になっていく。

今月号のNA Wayは、そのようなサービスを祝福するものになっている。4月29日～5月5日に開催される2018年度のワールド サービス カンファレンスに関する記事は、とくに読み応えがあるだろう。

「私たちがその過程を信頼すれば、のびのびとその過程に身を置くことができる。

私たちは余計なことに惑わされず、

心をひとつにして行動し、まごころを込めて話し、ハイヤーパワーの声を聞く」

『ガイディング・プリンシプルズ：ザ・スピリット・オブ・アウア・トラディション』、『伝統2』

[ド・J \(エディター\)](#)

## 今月号の掲載記事

<b>特集記事</b>	3	ベーシック・キャプション・コンテスト	8
・ 回復に制約はない		サービスセンター	9
<b>WCNA 37 最新情報</b>	4	・ ワールド サービス カンファレンス	
<b>わかちあい</b>	5	グループ紹介	13
・ 任務完了		フェロシップ ディベロップメント	15
・ 自分から始めるサービス		Calendar	18
・ サービスへの熱意を再燃させる		Coming Soon	19
・ 女が役に立とうとして、何が悪いのか!		NAWS Product Update	20
・ 2016年度のWSC 体験記		・ NAWSの新しいウェブストア	

電子版はここをクリックすると追加のコンテンツを見られます

NA Way マガジンでは、読者のみなさんからののお便りをお待ちしている。掲載された記事に対する感想はもちろん、NAという集まりのなかで取り上げられている問題についてひとつの考え方を示すにすぎないものであっても、エディター宛に送っていただきたい。250字以内にまとまっていれば、そのまま編集の手を加えずに掲載されることになっている。お便りには、本名、現在使われている住所および電話番号を明記することをお忘れなく。掲載される場合には、アノニマスでという希望がないかぎり、ファーストネームと苗字のイニシャルを署名として用いることになる。



## 回復に制約はない

これは、コロンビアで回復の道を行ってきたアディクトの物語です。この仲間は、聴覚に障害があって口がきけない(ろうあ者であった)にもかかわらず、NAでサービスに関わることによってなんとかクリーンでいられるようになりました。そして、永遠にクリーンにとどまったのです。



ラウールは、家族のひとりに付き添われ、初めてNAのミーティングにやってきた。めもあてられないほど体が衰弱していて、靴も履いておらず、ひどい臭いがした。そのうえ、耳が聞こえず、口もきけないときた。そんな障害があるのにNAにやってきたラウールを、コロンビアのメデリン市の「グルーボ・エンシネ・ア・ヴィヴィル（「生き方を教えてください」という名のグループ）」のメンバーたちは温かく迎えた。そして、続けてミーティングに戻ってくるように勧めたのだ。それからしばらく、ラウールは親類に連れられてグループにきていた。みんなの回復のメッセージを聞き取ることができず、自分の話をすることもできなかったけれど、ラウールはミーティングに足を運びつづけた。そうするうちに、なんと、ラウールはひとりでやってくるようになったのだ。ラウールが使うのをやめた日がいつかは定かではない。

でも、12月のある日だ。コロンビアはクリスマス休暇の時期で、人々はどんちゃん騒ぎをしてやたらと薬物を使うようになるのだが、ラウールはクリーンでいたし、きちんとミーティングに出席していた。そうしたことに、ラウールの変化がうかがえた。

その当時、グループではサービスの役割がこなせなくなって、ミーティングの出席者も減っていた。だが、ラウールはNAにつながったその日から、ホームのミーティングを一度たりとも欠席することはなかった。あの時期には、ラウールとファン・カルロスという仲間がグループの忠実なしもべだった。しかし、ファンは責任を持ってやるのがほかにもいくつかあって、ミーティングの会場を毎日開けることがむずかしくなってきた。やっとの思いで開けつけていても、出席者が2人にしかいないことがざらだった。それでも、ラウールはミーティングに欠かさずにやってくる。耳が聞こえず、自分の考えを話すこともできないアディクトの真剣さを目の当たりにして、ファンはミーティング会場の鍵をラウールに預けることを考えた。そのとき、ラウールはクリーンになって8ヶ月ぐらいだった。

ファンはラウールと話し合った。手話を使ってグループのセクレタリーの職務を説明すると、ラウールは喜んで覚えようとした。そのときから、ラウールは毎週火曜日と金曜日にグループのミーティング会場の鍵開けを任せられ、その役目を確実にこなした。ミーティングの始まる2時間前には会場にやってきて、会場を掃除し、モップをかけ、椅子を並べた。そしてミーティングにやってくるメンバーたちのためにコーヒーを用意することも欠かさなかった。毎回、入り口に立って、やってくるメンバーひとりひとりを大きくぎゅっとハグしながら迎えた。ミーティングのなかでは、全員がカップを手にするまでコーヒーを配る係を務めたし、『伝統7』の献金袋も回した。

そして新しい仲間がやってきたときには、ラウールがグループのセクレタリーとして歓迎のキータグと何種類かのIPを渡す役目を果たした。にっこり微笑んでぎゅっとハグしながら手渡す姿は、忘れがたいものだ。新しい仲間たちの顔には、ラウールから受け取った想いと愛情があらわれていた。そういう仲間たちに、続けてミーティングに戻っておいで、そうすれば使わないでいられるよと、ラウールは手話を使って伝えるのだった。



毎年12月になると、ラウルは自分のクリーンタイムを祝うミーティングの案内をしたので、メデリン エリアのメンバーたちには一大イベントとして知れ渡った。この回復を祝うミーティングは希望に満ちあふれたものであった。耳も聞こえず口もきけないメンバーの回復を目の当たりにすることが、奇跡的なメッセージになっていたのだ。ミーティングの終わりには大量の食事が振る舞われ、NAメンバー全員のためのパーティーになった。

コロンビアのリージョンやエリアでコンベンションが開催される時には、ラウルも参加していた。ラウルはコロンビア中のNAから慕われるメンバーであり、多くのメンバーにとってサービスにかかわるお手本でもあった。そして、グループのミーティング会場を7年間ずっと開けつづける役目をつとめた。陽気で愛すべき人物として知られていたが、ラウルの人となりをもよくあわわしていたのは、そのハイヤーパワーへの信頼だった。朝晩欠かさずに祈り、行動と祈りによってメッセージを伝えていたのだ。

こうして7年8ヶ月のクリーンタイムを重ねたラウルは、54歳で心臓発作により亡くなった。ラウルは、家族と愛する人たちに囲まれていた。これからはずっと私たちの心にあって喜びをもたらしてくれるだろう。身体的にどのような制約があろうとも、回復は可能であることを示してくれたからだ。そして、サービスは回復への道であることも、サービスにしっかりかかわることによってグループが成長することも教えてくれた。ラウルがあんなにも長い間、ミーティング会場を開け続けてくれたおかげで、「グルーボ・エンシネ・ア・ヴィヴィル」には今、平均して35人のグループメンバーがきちんと参加しているし、ラウルの物語は今なおグループで語り継がれている。ありがとう、ラウル。これでもう、永遠にクリーンになれたね。

サイモン・M (コロンビア/ボゴタ)

# WCNA 37: あの不思議な力はここに

2018年8月30日～9月2日  
アメリカ合衆国フロリダ州オーランド

[www.na.org/wcna](http://www.na.org/wcna)

今のうちに事前登録をして  
WCNAのエンターテイメントのチケットを手に入れよう!  
座席指定のチケットは、事前登録の日付で発行されることをお忘れなく。

▶ **土曜夜のコンサート—二大スター共演 エバークリア&ブルーオクトーバー:**  
[www.na.org/?ID=WCNA37-Saturday](http://www.na.org/?ID=WCNA37-Saturday)

▶ **木曜のブルース・ランチョン—マイク・ジトー&アンダース・オズボーン:**  
[www.na.org/?ID=wcna37-blues](http://www.na.org/?ID=wcna37-blues)

▶ **金曜のジャズ・ブランチャーケイコ・マツイ&ユージ・グループ:**  
[www.na.org/?ID=wcna37-jazz](http://www.na.org/?ID=wcna37-jazz)

▶ **金曜夜のコメディ—アロンゾ・ボーデンと仲間たち:**  
[www.na.org/?ID=wcna37-comedy](http://www.na.org/?ID=wcna37-comedy)

▶ **WCNA開催前のクルーズ: キューバのハバナ:** [www.montrosetravel.com/wcnacruise](http://www.montrosetravel.com/wcnacruise)  
(8月25日～29日、タンパ港から出航)

▶ **WCNAでサービスにかかわる:** [www.webdata.na.org/wcna/sign-up.php](http://www.webdata.na.org/wcna/sign-up.php)  
(任務と日程が決まり次第、Eメールでお知らせします)

▶ **移動用機器のレンタル、現地の医療機器および医療用品\*:**  
▶ [www.locations.scootaround.com/WorldConventionNA](http://www.locations.scootaround.com/WorldConventionNA)  
▶ [www.questmobilitysolutions.com](http://www.questmobilitysolutions.com)  
▶ [www.orlandomedicalrentals.com](http://www.orlandomedicalrentals.com)  
▶ [www.familyrentals.com](http://www.familyrentals.com)

▶ **現地の公共交通機関:** [www.iridetrolley.com](http://www.iridetrolley.com)\*  
(片道運賃、1日パス、数日パス)

▶ **団体特別割引券の提供:**  
ディズニー・ワールド\*: [www.mydisneygroup.com/wcna37](http://www.mydisneygroup.com/wcna37)  
シーワールド\*: [www.seaworld.com/orlando/Special-Offers/group-events](http://www.seaworld.com/orlando/Special-Offers/group-events)  
ユニバーサル\*: [www.uomeetingsandevents.com/Why-Universal/Attendee-Ticket-Options/Default.html](http://www.uomeetingsandevents.com/Why-Universal/Attendee-Ticket-Options/Default.html)

\* この情報は、ここにあげた団体による推奨または提携を示すものではありません。

参加登録や、ホテルの予約情報、プログラム、エンターテイメントなど、  
WCNA 37に関することは、以下のサイトをご覧ください。

[www.na.org/wcna](http://www.na.org/wcna)





# わかちあい

## 任務完了

刑務所に入って3時間ですでに帰られるなんて、こんなありがたいことはない。昨夜は、サン・クエンティン州刑務所で金曜夜のH&Iミーティングに出席したが、実にいいミーティングだった。メインスピーカーは出所して45年になり、その間41年のクリーンタイムを重ねてきた。そのほか、刑務所内からも2名の仲間がスピーカをした。どれもみな、素晴らしいわかちあいだった。

ステップ9についてわかちあった男の話は、聞くも恐ろしいものだった。男は、当時4歳だった姪の目の前で、その母親を殺してしまったのだといい、そんな姪にどうやって償うのかという話をした。その場にいた全員が、泣いていた。俺はH&Iのサービスから離れていたが、その中休みが終わったのだと悟った。もう、かつてのような頻度でやることはできないにしても、やめるわけにはいかないんだ。

その夜、何人かの男たちがステップに取り組むこととスポンサーシップについて話していた。そのとき、俺の頭には、だいぶ前に開かれたサンクエンティの記念ミーティングがよみがえった。2005年のことだった。あのミーティングには、ワールドサービスからやってきたジェフ・Gとフレディ・Aが出席していた。フレディは1972年に釈放されて以来、サンクエンティに足を踏み入れるのは初めてだった。入るまで不安におののいていたが、それをなんとか克服して足を踏み入れた。フレディは素晴らしいわかちあいをして、みんなと輪になってミーティングを終えた。それから、ジェフが俺に『NAのステップワーキングガイド』を2冊くれた。新しい仲間へ渡してほしいというので、俺は言った。「ちがうでしょ。いちばんクリーンタイムの長い受刑者に渡さなくちゃ。塙の中にはスポンサーがいないんですから」。それで俺は、その『ステップワーキングガイド』を25年以上のクリーンタイムがある2人の受刑者に渡して、みんなのスポンサーになってくれるように頼んだ。あのかのミーティングには、刑務所内から30人、刑務所の外から40人が出席していた。昨夜は、刑務所内の参加者は100人を超えていたし、俺たちのように刑務所の外からの参加者は20人だった。

サンクエンティのNAは、今や、何世代にもわたるスポンサーとスポンシーが同じ屋根の下で共に回復の道を歩んでいることで、活気のある回復者の集まりになりつつある。ほかの多くの刑務所社会とは異なり、サンクエンティの連中は、お互いを肌の色や、宗教や、所属する社会や集団などで区別しない。みんなNAの仲間に見えるのだ。俺は、一部の国ではNAの文献がそう簡単に手に入らないから、いかに貴重なものになっているかという話をした。その後で、ひとりの男と話をすると、俺の話によってNA文献の価値に気付かされたと言った。俺は、それに気づいたことを祝福し、文献をあまり読まない仲間たちに働きかけてみるよう励ました。そうやって少人数でわかちあいをすれば、うまくプログラムに取り組めるようになるだろう。

サンクエンティでは週4回のミーティングが開かれている。そのうちの2回は、毎週150人以上の男たちが定期的に出席している。もう2回は、刑務所の小さな庭で開かれ、毎週15人ないし20人が参加している。こうして、塙の中で細々と回復をわかちあっていた集まりが、いつしか回復を祝う活気に満ちた集団になった。その成長と成熟の歩みにもう一度立ち会わせてもらえるなんて、俺は恵まれている。

愛とハグによる輪が途切れることのないように  
ジェフ・R (アメリカ合衆国/カリフォルニア)

編集記：

ジェフは2017年の末にこのわかちあい記事を投稿し、2018年の初めに亡くなりました。NAの「サービスひとすじ」であった姿は、いつまでも微笑ましく思い出されることでしょう。

Click [here](#) to read Jeff and Freddie's story "Going on a mission" in the July 2005 NA Way Magazine.

# 自分から始まる サービス

サービス。自分の回復で最も重要なもの。だから、まず、自分ありきだ。自分のやる気、自分の責任、そしてクリーンに留まりたいという自分の願望がなければ始まらない。実際、NAの奉仕を任されたしもべたちがこぼすのを、これまで何度となく耳にしてきた。自分からサービスに関わろうとしないくせに、ほかの人を言いくるめてサービスをやらせようとするアディクトばかりだというのだ。

たしかに、NAにはしっかりとサービスに関わろうとするアディクトが不足しているが、だったら、サービスを魅力的なものにすればいいんだ。泣き言を言って、愚痴をこぼし、恥じ入らせ、なんとか丸め込もうとしても、ほとんどの人は見向きもしないだろう。私だって、ごめん。でも、サービスに関わってれば、成長と回復の機会にこと欠かないのだ。そのことを、アディクトたちに知ってもらうために、私たちは自分のサービスにまつわる経験を積極的に話す必要がある。スポンシーや、親しい仲間や、ホームのミーティングで隣に座っている仲間に声をかけて、グループの良心をはかるビジネスミーティングに誘ってみるとか、あるいはエリアの小委員会やエリアのサービス委員会と一緒に出席してみたらどうだろうか。

私はこれまで、グループ、エリア、リージョンのほか、ゾーンや、世界の国々でと、NAのサービス機構によるあらゆるサービスの場でさまざまなアディクトたちと協力する機会に恵まれてきた。こうして回復の道を歩むなかでサービスに関わることから、私には計り知れないほどの経験や知識やスピリチュアルな面での成長がもたらされた。だからといって、いきなりワールドサービスカンファレンスの共同進行役を務める必要はない。私がやったように、とりあえずホームグループでサービスに関わってほしいのだ。

私とホームグループとのかかわりは、まさにあらゆるサービスの場で活動するのと同じく、さまざまな仲間たちと出会うことでナルコティクス アノニマスの一部だと実感する機会になった（それはいまでも変わらない）。また、ほかの人たちと協力することを学び、自分にはちょっとした能力や才能がある（「感じよく異を唱える」能力もそのひとつだ）とわかり、自信がついてきたし、つねに正しくなくても自分のやり方が通らなくてもいいと思えるようになって、ちょっとやそつと揺らがぬ愛に満ちた関係をいくつか築くこともできた。

回復の道を歩むアディクトなら、サービスに関わってみるといい。グループの良心をはかるビジネスミーティングやサ

ービスの小委員会にはだれでも出席できるのだから、惜しみなく与えられたものを手放すことでもたらされる恩恵や個人の成長はだれでも享受できる。NAでは、サービスは感謝の気持ちを表すことだといわれている。だから、みんな、クリーンで生きられるようになったことへの感謝の気持ちを表していこう。

役に立てることに感謝  
しているアディクト

マイク・B (カナダ/マニトバ)

NA Way 2004年10月号より転載

Click [here](#) to see the original article published in *The NA Way Magazine*, October 2004

## サービスへの熱意を 再燃させる

NAにつながって27年もサービスをやっていたら、正直なところいささか疲れしてきました。グループの役割以上のサービスに取り組んでいても、わたしにはもう、かつてのようなワクワク感がありませんでした。サービス委員会の場でストレスにさらされてきたうえに、新しいメンバーたちが「あんな上下関係のなかに加わるのはまっぴらだし、バカバカしいったらありやしない」というのを耳にしていたら、疲れ果ててしまったのです。

サービスはもう、つながったばかりのメンバーたちにとってやってみたいと思えるものではなくなってしまったのか。それは、気になるところでした。そもそも、役に立つことをするというのは、NAという集まりが成長するのを助けるためだし、地域社会のなかでNAの果たす役割を維持していくため、そして何よりも、アディクトがクリーンになってとどまれるようにするためでしょう。だから、私たちはNAの伝統に従いNAの概念を指針として、迷わずにやってきたのです。

そうして27年の間サービスを提供してきたのに、そのやり方が変わるなんて！寝耳に水でした。サービスシステムに関するさまざまなアイデアが出されたことに、わたしはたじろいだのです。まったく、だれが変化を望むのか。「なぜ、支障なく機能しているものを修正するのか」。わたしにはいろいろと言いたいことがあったし、サービスの会議ひとつとっても、どうやって交渉するのかを学ぶのは至難の技だろうとしか思っていませんでした。でも、この2日間で、わたしは気づかされたのです。それが、長年にわたってサービスに関わるなかで自分が

経験したあらゆることに疑問を投げかけると同時に、わたしの心の奥底に希望を植え付けました。まさか、サービスが次々と段階を踏むごとに楽しく教育的なものになっていくとは、考えてもみなかったことでした。

心をひとつにすることでさまざまな障壁が打ち破れるなんて、だれが思ったでしょう。わたしたちは古い考えを手放すとき、変化に向かう道を開くのです。先に書いたように、変化はとても恐ろしいものになりますが、それでも大丈夫。わたしがまさに経験したことから、サービスは信じられないほど安全で、人を育てて支え、創造的で、分け隔てがなく、心が広く、統一的で、共通の目的を持ったものになるのです。そこには尻込みする人はいても、怒鳴る人はひとりもいなかったし、クリーンタイムが長いからといって優位に立つ人もいませんでした。つながったばかりのメンバーでさえ、仲間になって支えられていて感じたのです。わたしは目に涙をたたえ、感謝の気持ちで立ち去りました。それで、オーストラリアのブリスベンで開催された「グレーター・クイーンズランド・ローカル・サービスボード・カンファレンス」が、どのようにわたしに影響を及ぼし、わたしを惹きつけ、NAのサービスにわたしを引き戻してくれたのかということ、ここでわかちあいたかったのです。

ベッキー・C

(オーストラリア/カール・カール)

For more information on the Service System Project and Proposals, please visit [www.na.org/servicesystem](http://www.na.org/servicesystem)

## 女が役に立とうとして何が悪いのか!



うちのグループでは最近、サービスに関わっている女性たちのことが話の種になった。いつかきっと、そんなことを話題にするまでもなくなるだろうと、わたしは信じている。

NAでサービスをやっているのに、わたしは自分が対等に扱われていると思えない。被害妄想だろうか？ まあ、それも、ないわけじゃない。何かあると、それが引き金となる。かつて日常茶飯事だったわめき声、ひわいな言葉、暴力を受けると、いろんな感情がよみがえるのだ。

いずれにしても、わたしの耳はあまりに過敏だと言われている。性差別主義者だってわけ。しょうがないでしょ、わたしは耳がいいんだもの。それなのに、わざわざひとの目の前に突っ立ってどなるメンバーがいる。無礼じゃない。わたしを性悪女呼ばわりするなんて、それこそ性差別だ。サービスに関わっている男性は頭がよくて主張が明確だとみてもらえるのに、女性が同じ行動をとると仕切って支配しているとみられる。そんなこと、これまでに嫌になるほど目にしてきた。

サービスのことはさておき、わたしはNAにいるんだから、自分の問題に取り組みなくちゃいけないのはわかっている。ちょっとしたことでぐらつくことに取り組み必要があるし、自分とほかの人たちを手ひどく扱った時期に目を向ける必要がある。サービスに関わるなかで、自分の欠点まるだしで行動しないようにする必要がある。毅然として、ほかの人たちを不当に罰したりせず、だれかにひどい扱いを受けてもまともに取り合わないようにする必要がある。全力を尽くしてやってみる。

NAメンバーは、性別がどうであろうと、みんな同じだ。古い行動パターンは変えなくちゃ。わたしは変わろうとしている。わたしは毅然として、言いたいことをはっきり言いつづける。気分は最高！ 仲間は、男性も女性も、力になってくれる。クリーンにとどまってサービスに関わっている女性たちは、わたしの刺激になってくれる。わたしを対等に扱ってくれる男性は、わたしに希望を与えてくれる。

性差別をしているメンバーも、わたしの成長には役立っている。NAは、そういう集まり。わたしのよりどころであり、わたしが信頼しているところで、わたしが成長する場で、わたしが学ぶ場で、わたしが慰めを求めるところ。ここでは、わたしたちはみな同じ。生き方を変えようと努力している病気のアディクトに変わりはない。女だからといって、わたしは特別扱いはされない。これまで

出会った男性がそうでなかったのは、ああいふ扱い方しか知らなかったからだ。わたしが女だからああいふ扱いを受けたのではない。ああいふことをする人間だったということだ。

ナン・O  
(カナダ/ニュー・ブランズウィック)

[NA Wayマガジン1998年7月号](#)より転載

## 2016年度の WSC体験記

僕はNAにつながった当初には、このNAという集まりに役立つことをしようなんて考えもしませんでした。どうやってクリーンになって社会復帰をするかということにしか関心がなかったのです。「共通の福利」と「無私のサービス」が自分の回復に直接役立つことになるなんて、信じがたいことでした。ところが、仲間のアディクトたちがアディクションという病気から回復していくのを目にして、いつの間にか満ち足りている自分に気づいたとき、奇跡は必ず起こるのだと信じるようになっていきました。

2016年度のワールドサービスカンファレンス(WSC)に出席したことは、僕の回復の旅のなかでとびきり大きな経験になりました。まさに、夢のようでした。NAのサービスに関わることで経験の長いメンバーたちからWSCの話聞いたとき、ワールドサービスオフィス(WSO)を訪れることとWSCの出席者になることを、僕は夢見るようになったのです。

僕ら(リージョナルデリゲートとオルタネイトデリゲート)はWSOを訪れて、さまざまな部門や、NAの文書保管室や、翻訳室を見学してまわったのです。WSCにはマニプリ語に翻訳されたNAの文献があり、それを目にしたことで、マニプル地方の方言に翻訳する

ためにみんなで力を合わせて努力したことが思い起こされました。

そして、カンファレンスで上映されたNAの歴史に関するビデオでは、NAという集まりが誕生してから、成長の苦しみを経て、世界に広がっていくまでの歩みを目にして、胸がいっぱいでした。現在の世界情勢のことなど頭から消えてしまい、僕らすなわち2016年度のWSC出席者たちは、平和と愛と希望をしっかりと手にするために、そしてそれを世界中のまだ苦しんでいるアディクトたちに返していくために、ひとつにまとまっていると感じたのです。

WSC閉会の夜には、僕は世界中からやってきたメンバー数人とともに、閉会式のスピーカーミーティングでわかちあう機会を与えられました。自分の番になってちゃんと話せるだろうかと、緊張してパニックになりかけたので、話し終えたときにはうまく話せなかったような気がしていました。でも、あとで会場にいたみんなが僕をハグしながら、よく話したねと言ってくれました。

今の僕は、NAのサービスに並々ならない情熱を持っているし、NAのワールドサービスオフィスは「人生のオフィス」だと思っています。NAという集まりと社会のためにもっと貢献しようと、僕はすっかりその気にさせられました。そして、自分が学びながら成長する新しい社会と新しい文化を見つけたような気もします。このような気づきがあったのも、NAの役に立とうとしたおかげでしょう。

グニ・F  
(インド/  
マニプル州インパール)

[2016年7月発行](#)  
[『アジア・パシフィック・](#)  
[フォーラム・ニュース』](#)  
[第40号より編集](#)





写真撮影者：テイナ・T  
(アメリカ合衆国／カリフォルニア)

## ベーシック・キャプション・コンテスト

\*ベーシック・キャプションは、「ツボを押さえたひとこと」です。

ベーシック・キャプション・コンテストに、応募いただいたみなさん、ありがとうございました。今回の傑作に選ばれたのは、

ジョージ・B-H (アメリカ合衆国／ワシントン)

### "ムーセージ\*を運ぶ"

\*「ムース (ヘラジカ)」と「メッセージ」を合体させた造語

ほかにも優れた応募作があったので、以下にご紹介しましょう。:

こうやって独りぼっちで吊るされてるのはもうあきあきしてたところへ、NAのミーティングが開かれるようになった。今じゃ、ほくも回復のことがよくわかってるから、ぜひわかちあわせてほしいんだ。

エレナ・I (ロシア／ゼルジンスク)

ナルコティクス アノニマス —— ひとつの約束、たくさんの贈り物。

ブルース・D (アメリカ合衆国／フロリダ)

ほくの名前は、プリングル・J\*。アディクトのムースだよ。

(訳注：アメリカのTVアニメ・キャラクター。「のきなムース (ヘラジカ)」の名前)

デニス・F (アメリカ合衆国／ペンシルバニア)

『無名であることは、私たちの伝統全体のスピリチュアルな基盤である。それは、各個人よりもNAの原理が優先すべきことを、いつも、私たちに思い起こさせるものである』

ニール・E (ニュージーランド／オークランド)

ヘラジカはここにとどまるしかないが、私たちの旅はナルコティクス アノニマスで続く。

ローリ・H (アメリカ合衆国／ニュージャージー)

ナルコティクス アノニマスでは、新しいリーダーにヘラジカを担ぎあげる。

クリストファー・M (カナダ／オンタリオ)

ムースも仲間入り。

デイブ・T (アメリカ合衆国／カリフォルニア)

## BCC 次のお題

ここに、みなさんがNAWayマガジンに参加できる新企画をご用意しました。左にあるコミック (漫画) のキャプション (短い説明文) を書いて送っていただくだけで、そのままキャプション・コンテストに参加できてしまうのです。みなさんのキャプションから傑作と思えるもの (1点とは限らないかもしれませんが) を選んで、次回のNA Wayマガジンに掲載させていただきます。そうやってNAWayに名前が載るというのも、なかなかいいものですよ。

申し込みは、Eメールで受けつけています。宛先は [naway@na.org](mailto:naway@na.org)。件名は「ベーシックキャプション・コンテスト」とし、本文には名前と住所を必ず記入するようにお願いします。

**この仲間が食べたフォーチュンクッキー\*には、どんなお告げが書かれていたのでしょうか？**

(訳注) \* 中華料理に添えられている「おみくじ入りのクッキー」



撮影者：コナー・H (アイルランド／ダブリン)



# サービスセンター

## ワールド サービス カンファレンス



NAのワールド サービス カンファレンス(WSC)は、NA全体によるサービスの集会である。ただ、NAのあらゆるサービス機関とは異なり、WSCは活動の場ではない。イベントの一種、すなわち一体になる場なのだ。2年おきに、リージョナルデリゲート(リージョン代表)、ワールドボードのメンバー、ワールドサービスオフィスのエグゼクティブ・ディレクターが集合して、NA全体にとって重要な問題を話し合う。ワールド サービス カンファレンスの目的は、NA全体を支援することと、ナルコティクス アノニマス全体によるグループの良心に従い、すべきことをはっきりさせて行動することである。

[…中略…]世界中のNAに影響を及ぼす問題や関心事についてNA全体の声もたらされ、NAの『12の伝統』と『12の概念』に導かれながら検討を重ねたうえで、NA全体の声が表示される。そのような場は、NAという集まりではここだけである。ワールド サービス カンファレンスは、リージョンの寄り合いなどではない。ここで関心事となるものは、それぞれのリージョンで抱える問題を合わせたぐらいでは追いつかないほど大きな問題なのだ。WSCは、NAのコミュニケーションと一体性のための道具であり、私たちの共通の福利がそのまま会議の議題となっているフォーラムでもある。

このような場で審議を重ねれば、さまざまに異なる言語や文化による多様なメンバーの要望に応えることができるし、また、世界中のNAグループにどうやって効果的なサービスを提供するかという課題に取り組むこともできる。この集会は、現在と未来のどちらにも求められることを考慮に入れつつ、NA全体の利益のためになるものだ。



「ガイド・トゥ・ワールド・サービス・イン・NA」の2ページと6ページから抜粋







## 2年おきのカンファレンスに向けた準備

2年おきのワールド サービス カンファレンス (WSC) では、開催までの間のコミュニケーションが議事進行のために欠かせません。2014年～2016年までの2年間には、カンファレンスの出席者たちが議論を重ねてさまざまなアイデアを生み出せるように、多くの機会が提供されました。ウェブ会議によるやりとりも、カンファレンスまでの2年間では定番になりました。また、WSC開催前にも、NA全体による再検討と議論のために動議、小論文、資料からなる郵送物が3通、カンファレンスの出席者に届きます。そして、カンファレンスの出席者たちから提出されたアイデアや提案はCATに掲載されて届くほか、カンファレンスレポートによっても共有されることになるのです。

カンファレンス アジェンダ レポート (CAR) には、各リージョンやワールドボードから提出されたさまざまな提案や動議が盛り込まれており、それをもとにNAはNA全体のグループの良心を形成することを求められます。この動議や提案は、WSCで討議される議題になるものです。また、動議にはそれぞれ、ワールドボードによる財政的な影響に関する勧告や声明も添付されています。CARは、各カンファレンス出席者と各リージョンの郵送先住所に一部ずつ郵送されますが、これとは別に、NAのメンバーであれば、制作および配送の費用にもとづく価格（本年度は110 USドル）でワールド サービス オフィスから購入するか、あるいはまた、自分たちのエリアやリージョンのサービス委員会またはサービスオフィスから購入することも可能です。なお、CARには、最新の検討課題に関する小論文や、各動議に対する投票用紙、NAメンバー全員に記入してもらう文献調査、ワールドサービスでよく使われている用語集なども盛り込まれています。

カンファレンス アブルーバル トラック (CAT) による資料は、WSC開催前の1月にカンファレンスの出席者へ郵送されます。過去には、このような資料はすべてCARに盛り込まれていました。しかし、グループからもっと自分たちの目的とニーズに関わりのある内容にしてほしいという要望があったため、これに応じて、CATにはサービス、長期的なプラン、プロジェクトプラン、予算案などに関する資料が盛り込まれるようになったのです。そして、これを要約したものがCARにも盛り込まれています。

カンファレンスレポートは、毎回WSC開催の直前に発行されるもので、カンファレンス週間のことや、主要なプロジェクトの現状、課題や成功例、新しい取り組みへの提案などに関する情報が盛り込まれています。そして、ここには、RD（リージョナルデリゲート：リージョン代表）から提出されるリージョナル レポートも含まれていて、グループとミーティングの数、サービス活動、課題、そしてリージョンや国境を超えたサービスに役立つと思える実例など、各リージョンに関する情報が伝えられます。また、各地のゾーナルフォーラムからも、配布用の書面によるレポートが提出されることがあります。

**ウェブ会議**は、2年おきのカンファレンスに向けた準備では定番になりました。これは、2013年の7月13日に、ワールドボード主催でカンファレンスの出席者による会議が開かれたのが始まりです。これまでに12回ほど開催され、プロジェクトに関する最新情報を共有したり、検討課題に関する意見提供を求めたり、オンラインでさまざまな問題を小人数で議論する場になっています。また、ワールドボードも対面による会議の合間に自分たちのウェブ会議を開いているし、いくつかのプロジェクトワークグループもオンラインで会議をしています。そして、インターネットにつながっていれば、世界各地のイベントに「出席する」機会にも事欠かなくなりました。





# 親愛なるデリゲートへ

## 2008年度WSCから、2018年度WSCに向けたメッセージ

2008年度のワールド サービス カンファレンスでは、出席者たちに10年後のカンファレンスを想像してもらい、そのときに今の自分と同じ席に着いているメンバーに宛てた手紙を書いてもらいました。そのうちの何通かはNA Way 2008年7月号に掲載しましたが、2018年になったところで全部読み返し、ここでみなさんに一部を紹介することにしました。

あのときの出席者たちのなかには、ワールドサービスから離れて別のサービスに関るようになったメンバーや、すでに亡くなったメンバーがいる一方、今年もWSCに出席するメンバーもいます。このような手紙は、サービスにかかわることで成長とスピリチュアルな充足感がもたらされることや、私たちの時間がいかに限りあるものかということ、その限られた時間をNAのサービスに費やせるのはなんと恵まれているかということ、しっかり思い起こさせてくれるものになっています。これから始まる2018年度のワールド サービス カンファレンスが、このような奉仕を任されたしもべたちの心意気に敬意を表するものになると同時に、2008年の「親愛なるデリゲートへの手紙」で語られた楽観主義、一体性、愛によるカンファレンスとなることを願ってやみません。

2018年には、オールトラリアのNAがさらに健全な集まりとなって、メンバーの数でも多様さでも絶えず成長を続けていることと思う。その代表となった君なら、この2008年までさかのぼり、私たちの取り組みがNAにとって大事だったことをわかってくれるだろう。私もやはり今、過去にさかのぼって、先につながった仲間たちがNAという集まりに無心で注いでくれた愛情と汗を感じとれる。だからこそ、私たちは今ここにいるのだし、君たちもそこにいるというわけだ。

ピーター・T  
(オーストラリア リージョン)

インディアナリージョンの代表が、NA全体に対する理解を深めて2018年度のカンファレンスを後にし、カンファレンスで設定した目標をすべて達成することを、何よりも願っています。そして、先人たちに感謝しつつ、自分が去ったずっと後でこの席につく仲間たちのために、どうか道を開いてください。

リタ・P (インディアナ リージョン)

リージョンの代表を務めるからには、世界中のNAメンバーたちの役に立つことをして、親しみやすい存在となり、サービスに対する情熱を伝えることによって、きっと責任を果たそうとするだろう。仲間たちを、明るく照らそう！ 仲間たちを愛そう！ 回復の道を楽しんで、仲間たちを道連れにしよう！ あなたの献身に感謝します。

ピエロ・G  
(カナダ/ケベック リージョン)

俺のアディクションの大部分は、孤立感のなかに存在する。そんな俺にも、サービスは人とかかわることへの扉になることや、そうしたかかわりが親密さにつながることがわかってきた。それは、望んでいるだけじゃとどろ着けないものだ。君が、自分のことを知って、NAの仲間たちと親密な関係が築けるように願っている。

ビル・S (アメリカ合衆国/  
グレーター・ニューヨーク リージョン)

スペインリージョンがこれまでに成し遂げてきたことを、私は誇らしく思っている。2018年度WSCが開催されるときには、スペインのRD (リージョナル デリゲート:リージョン代表) はさらに大きくなったNAを代表することになるだろう。なぜなら、2008年のスペインリージョンは一丸となって、国内でまだNAが知られていない地域にあますところなくメッセージを運ぶことができたからだ。こうして私たちがEDM (ヨーロッパ デリゲート ミーティング) で取り組んだことは、きっと、2018年になって成果を表しているだろう。

イニゴ・C (スペインリージョン)

あなたの前にこの席に着いたわたしたちも、あなたの後にこの席に着く仲間たちも、あなたがそうして役に立とうとしていることをありがたく思っているのです。そのことを、どうか忘れないでください。役に立とうとするあなたの意欲に、感謝しています。そういうあなたなら、わたしたちがこの2008年度のカンファレンスでいくつかの決断をしたのは、生きる力を与えてくれるこの素晴らしいNAという集まりの成長をうながすためであり、それによって、アディクトが一人残らず「自分の話す言葉でNAのメッセージに触れるチャンスを手にする」ためであったとわかるでしょう。

ベリンダ・H (アメリカ合衆国/  
ボラティア リージョン)

ひとりひとりが自分なりに時間をかけて最良と思える方法でサービスに関われば、このような力強い希望のネットワークをつくり続けていけるにちがいない。ただし、NAのメンバーならだれもが、僕らがここでやっていることに対して感謝の気持ちを持っているとはかぎらないし、気にもしてないメンバーだっているんだ。でも、がっかりすることはない。NAはうまくいくのだから、NAの希望と自由のメッセージが世界中のあらゆる場所に届くように、僕は精一杯努力しつづけることが大事なんだ。

ディエゴ・M  
(コスタリカ リージョンのRD)

2008年のカンファレンスでの取り組みによって、平等と普遍性につながる道をここまで開くことができた。そうなる、この道がみんなの未来につながっていくかどうかは、君にかかっている。ここが踏ん張りどころだ。頑張ってくれ！

ティム・S (アメリカ合衆国/  
ミッド・アメリカ リージョン)

ここで教わったいろんなやり方をメキシコリージョンのメンバーたちに伝えれば、それを利用してお互いを尊重し合うすがわかるから、NAにとどまれるメンバーが増えるだろう。

ラミロ・S  
(メキシコ/バハ・ソンリージョン)

オハイオ リージョン代表代理としてのカンファレンス出席、お疲れさま。私たちが2008年に行った取り組みによって多くの情報がもたらされるようになれば、NAのメッセージを運びやすくなるだろう。責任を感じるだろうけど、それはみんな同じだよ。それがNAのサービスを支える原動力になっているんだ。周りを見てごらん。自分と同じ奇跡が起きていることがわかる。みんなが2008年度のテーマである「私たちの自由、私たちの責任」を心に刻んで、この場を去って行くだろう。だが、役目を終えた開放感もいっときのことで、これからまだまだ苦しんでいるアディクトにNAのメッセージを伝えていくために努力していただきたい。

デール・W  
(アメリカ合衆国/オハイオリージョン)

ぼくは、ブラジル リージョンのオルタネイトデリゲート(代表代理)です。飛行機で18時間かけてやってきました。ブラジルでは英語は外国語だし、アメリカの文化に接するのは驚きの連続です。ぼくは、これまで1998年と1999年と2000年にWSCに出席したのですが、まだなじめないところがあります。も

ちろん、ぼくたちはNAの成長のために集まっているのであり、みんな同じNAメンバーですから、違和感はありません。今回のカンファレンスはこれまでのところ、とても興味深いものでした。これまでに出席したカンファレンスよりずっとよかったです。このNAという集まりを真の国境を超えた回復の集りにすることに、みんなが関心を深めていると感じます。つまり、ここに集まっているみんなが、NAにもっと多種多様な仲間がつながれるようにしようとしていると感じるのです。まったく、素晴らしいことではありませんか。

ホセ・M (ブラジル リージョン)

2018年度のWSCには、ロシア語圏のNAから何人もデリゲートが出席しているはずなので、わたしよりずっとリラックスできるんじゃないかしら。ロシア語圏では今、ウエスタンロシア リージョンのほかいくつかのリージョンができてつあり、それがWSCで発言権をもつようになるでしょう。世界の陸地の1/6を占めるほど広大な地域に対応してサービスを提供するのは並大抵のことではありません。2008年度に出席する世界中のデリゲートたちは、その大変

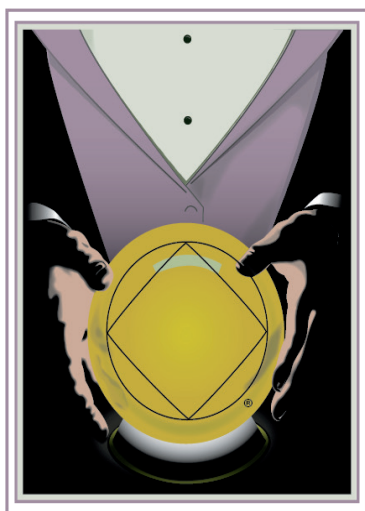
さを理解するでしょう。そして、今(この手紙を読む2018年)から10年前のロシア語圏のように、発展途上のNAにおけるフェロウシップディベロップメントのためにワールドサービスがしていることも並大抵ではありません。それは、デリゲートにならなければわからなかったでしょう。2018年度のWSCに出席したら、そういうことも気づいてもらえるといいなと思っています。

ナタリア・B  
(ウエスタンロシア リージョン)

WSCに出席するなんて、まったく恐れ多いとてつもない体験だけど、でも、先につながった仲間たちの愛と支援によってなんとかやり遂げることができるものよ。今回のカンファレンス開催中に、あたしたちが行う取り組みで最も重要なのは、『ベーシックテキスト』第6版のを中心に展開するんじゃないかしら。この第6版はNA全体を反映するものになるはず。つまり、世界に広がるプログラムであることがわかるものになるということ。あなたも力が入るでしょうし、このNAのプログラムを存続させ、後から来る仲間たちのためにしっかり守ってくれるでしょう。どうか、よろしくね。

ジョディG (サザンアイダホリージョン)

あ<sup>今も</sup>の不思議な力はここに



## ナルコティクス アノニマス ワールドユニティデイ 2018 2018年9月2日(日)・東部夏時間 午前11:00

アメリカ合衆国フロリダ州オーランドで行われるWCNA 37の閉会式で、世界中の何千人ものアディクトと一緒にNAのワールドユニティデイ を祝いましょう。

閉会式の会場にいなくても大丈夫。インターネットにつながるという「魔法」を使えばいいだけです。無料のオーディオ・ウェブキャストが実況中継されるので、インターネットによってだれでもNAのメッセージを聞けるでしょう。

詳しいことがわかり次第、[www.na.org/wcna](http://www.na.org/wcna)で情報を更新していきます

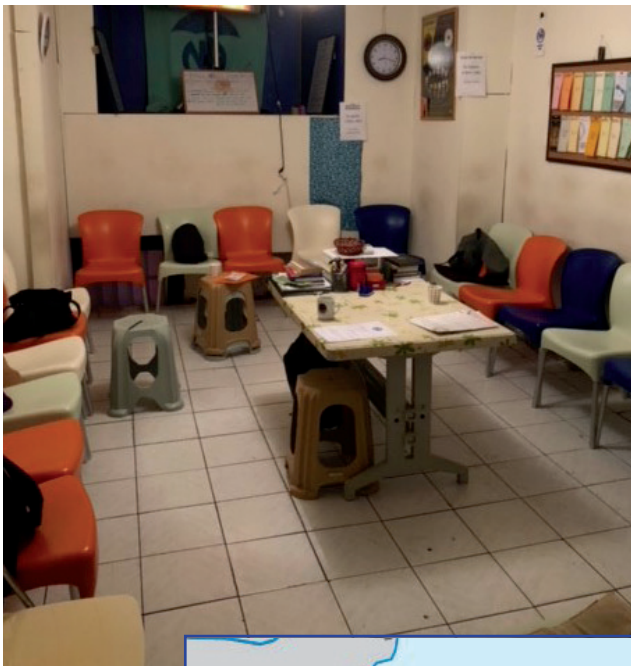
今回から、インターネットストリームへのアクセスが不可能な施設を除いて、電話回線接続システムは利用しません。これに代わるものとして、  
無料インターネットストリームをご利用ください。

公共の機関や施設などの接続について詳しく知るには[jane@na.org](mailto:jane@na.org)へお問い合わせください。



# グループ紹介

NAWayでは、世界中のNAからミーティング会場やイベントの写真が送られてくるのをお待ちしております。ただし、集まっているメンバーがどこのだれとわかる写真をご遠慮ください。なお、写真には、グループやイベントの名称、所在地および国名はもちろん、グループやイベントが誕生してどのくらい経つのか、ミーティングの形式やイベントで大事にしている習慣、ユニークな点など、グループやイベントの紹介文を添えていただくようにお願いします。宛先は、[naway@na.org](mailto:naway@na.org) となっています。



## イスタンブールのアドシズナルコティク

イスタンブールのNAの「アクション・グループ」は、1993年の10月6日に初めてのミーティングを開きました。トルコではいちばん古いグループで、「アクション・グループ」の誕生がトルコのNAのはじまりとされています。「アクション・グループ」は、もうすぐ25周年を迎えるんですよ。この25年の間には、何回かミーティング会場を変更しました。グループ誕生の頃からいる2人の古いメンバーを除いて、メンバーの顔ぶれもたえず変わっています。「アクション・グループ」が古くなるにつれて、グループのメンバーは新しくなっていくのです。

私は、この「アクショングループ」で回復の道に踏み出しました。これまで回復の道を歩むなかでは、何度かグループを変えたり、いくつかの新しくできたグループでもべとになって支援しました。けれども、去年になって、古巣である「アクショングループ」に戻ってきたのです。戻った当初は、なじめなくてぎくしゃくしましたが、あるとき、トイレ掃除を試みようと思立ちました。そうすることで、私はもう一度グループの一員になることができました。ここが、居場所になったのです。我が家にまさるものはありません。



「アクショングループ」は曜日でミーティングの形式を変えています。月曜（文献スタディ）、水曜（Q&A）、木曜（ステップと伝統）は夜7時30分からのミーティング。そして土曜は、午後3時からのオープンミーティングで、ステップ1に焦点を当てています。みなさんがイスタンブールに滞在の折には、ぜひ、タクシム地区にある「アクショングループ」にお越しください。ミーティングリストは[www.na-turkiye.org](http://www.na-turkiye.org) で確認できます。自分が手にしたものは、手放すことによって自分のものになるのです。

ベトゥール・B  
(トルコ/イスタンブール)



# セレンティ・シスターズ

2017年の初めに、ある教会からNAワールドサービス（NAWS）に連絡がありました。この教会はオピオイド（訳注：モルヒネに似た作用をもつ合成麻酔薬）の氾濫に危機感を覚えて、ミーティング会場を提供するという意向を示したのです。この話は、まず、NAWSから地元の奉仕を任されたしもべのひとりに知らされて、次に、このしもべから地元の仲間へと伝えられました。教会がNAにミーティングを要請してくるなんて、異例のことです。いつもなら、NAの方からお願いするんですからね。これは、HPが教会に会場の提供を呼びかけてくれたにちがいないと、わたしたちは思いました。

そして教会側との会談で火曜の夜に部屋を貸していただけるとわかり、この際だから、女性ミーティングを開くのがいちばんいいだろうということになりました。

グループの名前は「セレンティ・シスターズ（心安らかな女性たち）」に決まり、2017年2月7日にペンシルバニア州オックスのブラック・ロック・ロード126番地で、夜7時30分から第1回のミーティングを開きました。こうして、モンゴメリー・カウンティ・エリアのNAに初めて女性のグループが誕生したのです。このグループは、多くの女性のよりどころとなりました。みんな、日々乗り越えなければならないことについて人目を気にしないで正直に話せる場を必要としていたのです。わたしたちは

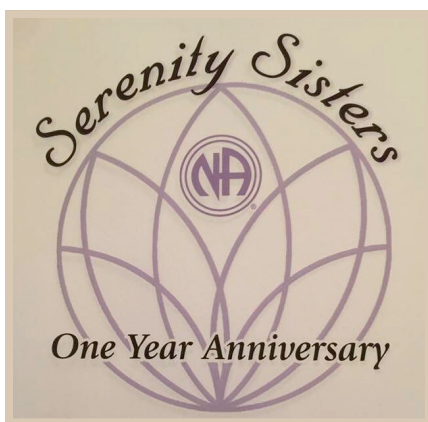
「セレンティ シスターズ」は女性ミーティングだと思っていますが、必要にかられればだれでも参加できるオープンミーティングとして開いていくことに決めました。

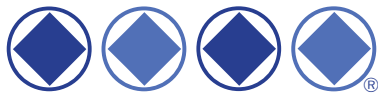
毎月、第1週～第3週はオープンミーティングで、『今日だけ』にあるその日のページを読んでわかちあいます。第4週は書籍ミーティングで、第5週は「チェアパーソンにおまかせ」となっています。クリンタイムのお祝いにはキータグとハグがつきものですが、新しい仲間には暖かく迎えられていると感じてもらえるようにみんなでハグして電話番号のリストを渡しています。ミーティングは盛況で、毎週20～25人もの回復の道を歩む女性が集まってきます。そうやってみんなが新しい生き方を見だし、クリーンにとどまってほかの女性を支えるために手を差し伸べています。

このグループは、困難らしい困難には直面していません。教会は協力的だし、ミーティングの部屋はとても居心地よく、ミーティングの出席者も多いからです。そして、「セレンティ シスターズ」の立ち上げには、元のホームグループのメンバーたち

が力になってくれました。その献身と、変わらない支援と、定期的な出席に、わたしたちは感謝しています。こうやって、この地域の女性たちを支えて回復を祝う時間と場所を手にすることができたのですから、わたしたちは恵まれています。これからも、この「セレンティ シスターズ」というホームグループで、NAのメッセージを運ぶ努力を続けていくでしょう。

セレンティ・シスターズ グループ





# フェロシップ ディベロップメント

『ガイド・トゥ・ワールドサービス・イン・NA』によれば、「ゾーナルフォーラムは、サービスを中心とした経験を共有することや議論を重ねることによって、ゾーンのなかにあるNAが情報をやりとりし、協力しあって、共に成長していく手段を提供する」場となるものです。ゾーナルフォーラムは、NAの正式な意思決定システムの一部ではありませんが、フェロシップディベロップメントや地域間のコミュニケーションでは、ワールドサービスとリージョンとゾーンは協力して取り組むことが多いため、それぞれのゾーンにあるNAにとってはサービス研修の拠点となっています。ゾーナルフォーラムとWSCの今後の予定について詳しく知るには[www.na.org/future](http://www.na.org/future) をご覧ください。

## アフリカンゾーナルフォーラム

アフリカン ゾーナルフォーラム (AZF) は、ワールドサービスの支援によって2013年5月にタンザニアで開催された集会で誕生した。この第1回となる会議には、アフリカの11カ国を代表するメンバーが出席した。AZFは、アフリカのNAの支援と拡大に全力を尽くしている。2018年1月に開かれたAZFの会議には、14カ国の代表が参加した。エチオピア、ガーナ、ケニア、レソト、リベリア、モザンビーク、ナミビア、ナイジェリア、ルワンダ、南アフリカ、タンザニア、ウガンダ、ザンジバル、ジンバブエである。また、このような対面式の会議の合間にも、インターネットによる月例の会議を開いている。

AZFは、アフリカ大陸にあるNAの成長を支援して、都市部でも、農村部でも、どこであってもNAにつながるようになることを目指すとともに、NA文献の翻訳や、規制が厳しい国々への文献頒布にも力を注いでいる。

## アジア パシフィック フォーラム

私たちアジアパシフィック(太平洋)地域のNAリージョンはAPFに参加して、共通の問題を話し合い、共通のニーズに対応し、アイデアの交換や経験の共有をすることにより、NAの第一の目的を推し進めてきた。このフォーラムは、NAの既存のサービス機構を補完することを目的としている。

アジアパシフィックフォーラム (APF) は年1回開催され、以下に挙げた目標のチェックと継続的な見直しをはじめとする長期的なプランを活用している。

- フェロシップディベロップメントの促進と支援。
- NAメンバーや、NAや、NAリージョンの間でコミュニケーションを促進し、維持し、支援する。
- 財政的な安定を維持することで継続的なサービスの取り組みに資金を提供しつつ、予備金を賢く保つ。
- NA文献の翻訳を進めて支援する。
- NAワールドサービスと共同で取り組むことにより、各地のゾーナルフォーラムとの関係を築いて維持し、アディクトを世話する施設や機関との関係を築いて維持する。

APFは、30カ国のNAに貢献する責任があり、[www.apfna.org](http://www.apfna.org) で相互交流型のウェブサイト運営している。

## オトノミー ゾーン

オトノミー ゾーナル フォーラム (AZF) は、参加リージョンをひとつにまとめてNAの共通の福利を推し進める …AZFは、献身的に尽くすことを喜びとし、努力が変化をもたらすことを知っているがゆえに、サービスを提供するグループに対して最終的に責任を負おうとする。

オトノミー ゾーナル フォーラムは、北米東部の6つの州にあるリージョンによって構成されており (以下参照) 、[www](http://www).

[autonomyzonalforum.org](http://autonomyzonalforum.org): に参考資料を掲載するウェブサイトを開いている。

- チェサピーク & ポトマック リージョン
- イースタン・ペンシルバニア リージョン
- フリーステイト リージョン
- グレーター・フィラデルフィア リージョン
- マウンテンリア リージョン
- セントラル・アトランティック リージョン

## ブラジリアン ゾーナルフォーラム

ブラジリアン ゾーナルフォーラム (BZF) ではリージョンのサービス委員会が集合して、リージョンによる経験の交換や、それぞれのNAの発展について議論や支援を行なっている。関心のあるNAメンバーなら、だれでもBZFに参加できる。

ブラジリアン ゾーナルフォーラムに所属するリージョンのサービス委員会は、以下のとおりである。

- ブラジル
- ブラジル・セントラル
- ブラジル・スル
- グランデ・サンパウロ
- HOW
- ミナス
- ノルデステ
- リオグランデドスル
- リオデジャネイロ

複数のリージョンによって運営されるサービスオフィスでは、ブラジル全土やゾーンに対して文献を頒布している。複数のリージョンによる共同の取り組みでは、文献翻訳委員会によって『リーチングアウト』がブラジルの公用語であるポルトガル語に翻訳された。BZFについてさらに詳しく知るには[www.na.org.br](http://www.na.org.br) をご覧ください。

## NAカナディアン アssenブリ(CANA)/アセンブルカナディアンヌ(CANA/ACNA)

2018年度のワールドサービスカンファレンスが開催されるまでの2年間で、私たちはカナダ国内の専門家による6つのイベントに参加したほか、年1回カナダのNAコンベンションを開催するまでの作業を抜本的に見直して、もっと雛形を多用することにした。それ以外にも、バイリンガル (二か国語) によるウェブサイトを作成させ、主要なテレビネットワークで公共サービス情報・公共広告 (PSA) による効果的なキャンペーンを行い、NAワールドサービスに \$ 10,000ドルの献金を送ることができた。

また、現在と将来に求められることに焦点を絞るため、例年にならって私たちの長期的なプランによる目標を更新した。そして、目標達成のために計画されたいくつものプロジェクトを前にして、忙しい一年を過ごしている。CANA/ACNAと私たちのプロジェクトについてさらに詳しく知るには [www.canaacna.org](http://www.canaacna.org) をご覧ください。



## ヨーロッパ デリゲート ミーティング (EDM)

EDMは、ヨーロッパを拠点とするフォーラムであり、ヨーロッパ内外の多言語文化によるNAが参加している。EDMの使命は、参加NAの共通の福利と一体性をさらに押し進め、その成長を支援することにより、それぞれがまだ苦しんでいるアディクトにNAのメッセージを運ぶというNAの第一の目的を果たせるようにすることである。

EDMは、夏季にはNAのヨーロッパ コンベンション & カンファレンス (WCCNA) の主催都市にあるホテルで4日間にわたって開催され、冬季には参加NAのいずれかの地域で4日間にわたって開催される。そして、[www.edmna.org](http://www.edmna.org) でウェブサイト運営している。EDAには現在、29地域のNAが参加している。

## フォロ・ゾーン・ラティーノアメリカノ / ラテンアメリカ ゾーナルフォーラム

1993年の4月にワールド サービス カンファレンスが開催された際に、ラテンアメリカのいくつかのNAの代表者たちはNAワールドサービスと一緒にフォロ・ゾーン・ラティーノアメリカノ (FZLA)、すなわちラテンアメリカ ゾーナルフォーラム (LAZF) を結成した。FZLA / LAZFは、参加リージョンのためにサービスに関する資料の収集や作成を行い、それぞれのNAの継続的な成長に貢献することで、ラテンアメリカのサービスの拠点となっている。

現在のFZLA / LAZFのメンバーをあげると、「アルゼンチン」、「バハ・ソン・メキシコ」、「ボリビア」、「チリ」、「コロンビア」、「コスタリカ」、「キューバ」、「ドミニカ共和国」、「エクアドル」、「エルサルバドル」、「ガテマラ」、「ホンデュラス」、「メキシコ」、「ニカラグア」、「オクシデンテ・メキシコ」、「パナマ」、「パラグアイ」、「ペルー」、「プエルトリコ」、「ブラジリアン・リージョン・サンパウロ」、「リオ・グランデ・ド・ソル」、「HOW」となっている。また、このほかに、南カリフォルニアの「スパニッシュ・スピーキング・エリア」や、ウルグアイ、ベネズエラも参加している。FZLA / LAZFについてさらに詳しく知るには、<https://foroazonalatin.org/revistas/infolatinas> をご覧ください。

## ミッド・ウェスト ゾーナルフォーラム

ミッド・ウェスト ゾーナルフォーラム (MZF) は、1987年度のワールド サービス カンファレンスにおいて、アメリカ中西部にあるNAリージョンの間でコミュニケーションを促進する目的で設立された。現在の参加リージョンは、「シカゴランド」、「グレート・イリノイ」、「インディアナ」、「メトロ・デトロイト」、「ミシガン」、「オハイオ」、「バックアイ」、「ウイスコンシン」となっている。

ミッド・ウェスト ゾーナルフォーラムは、NAが直面している問題や課題について議論や情報交換をする場になっている。それによって、アメリカ中西部にあるNAのリージョン同士や、リージョンとワールドサービスとの間で意思の疎通をはかり、協力関係が深まれば、それぞれのNAの成長にもつながる。また、MZFは、NAのサービスに関するさまざまなテーマでワークショップや学習会を行い、NAワールドサービスの参加を得て複数のリージョンによるイベントを主催しているほか、広報の要請に対する連絡窓口も務めている。MZFについて詳しく知るには[www.mzfn.org](http://www.mzfn.org) をご覧ください。

## ノース・イースト ゾーナルフォーラム

NAのスピリチュアルな原理を活かすことで、NEZFのあらゆるサービスの取り組みにはNAの第一の目的が触媒として働く。それによって、献身的に尽くすことには喜びがあり、自分たちの努力がまだ苦しんでいるアディクトたちに変化をもたらすことを知るのだ。それを原動力として活動する私たちは、一体性、正直さ、信頼、善意によって育まれる協力関係でつながっている。

NEZFは、アメリカ北東部のコネチカット、メイン、マサ

チューセッツ、ニューハンプシャー、ニュージャージー、ニューヨーク、ペンシルバニア、ロードアイランド、バーモントといった州の全域または一部地域にあるNAリージョンによって構成されている。NEZFに関する詳細は、[www.nezf.org](http://www.nezf.org) をご覧ください。

## プレインズ・ステーツ ゾーナルフォーラム

プレインズ・ステーツ ゾーナルフォーラム (PSZF) は、カンザス州、サウスダコタ州、テキサス州北部中央地帯、オクラホマ州のほぼ全域、アイオワ州のほぼ全域、ネブラスカ州 (西部地域を除く) にあるNAリージョンによって構成されている。リージョンの名前は「サウスダコタ」、「ミッド・アメリカ」、「ベストリトル」、「OK」、「アイオワ」、「ネブラスカ」である。PSZFでは、相互交流型のウェブサイト ([www.pszfna.org](http://www.pszfna.org)) を運営しているほか、さまざまな取り組みを行っている。その一部を、以下に紹介しよう。

- 参加リージョンの間で、さまざまなサービスを調整する。
- グレートプレインズ (大平原地帯) にあるリージョンとNAワールドサービスの間で、コミュニケーションを円滑にし、協力関係を進め、グレートプレインズのNAの成長を促す。
- ワールド サービス カンファレンスに向けて、リージョナル デリゲート (リージョン代表) たちの準備を助ける。
- NAのサービスにおける検討課題について、ワークショップやラーニングデイ (研修会) を行う。
- NAワールドサービスを招いて、複数のリージョンによるイベントを主催する。

## ロッキーマウンテン ゾーナルフォーラム

ロッキーマウンテン ゾーナルフォーラム (RMZF) は、話し合いによる問題解決の場であると同時に、サービスに関する情報提供の拠点となることで、ゾーン内にあるNAリージョンを支援して、各リージョンが愛と一体性という原理によってまだ苦しんでいるアディクトにNAのメッセージを運ぶ取り組みを推し進める。それによってゾーン内にあるNAが成長すれば、どんなアディクトも孤独によって回復を阻まれることがなくなるのだ。

RMZFには、「コロラド」、「モンタナ」、「サウス・アイダホ」、「アッパー・ロッキー」、「ユタ」の5つのリージョンが参加している。そして、2017年12月の会議では、「アッパー・ミッドウェスト・リージョン」が加わった。詳しくは、[www.rmzfn.org](http://www.rmzfn.org) をご覧ください。合衆国の9つの州の全域または一部にまたがるゾーンフォーラムとして、参加リージョンは協力して共通の問題の解決に取り組んでいる。その一部を、以下に紹介しよう。

- 広大な地域にまたがるエリアがいくつもあること。
- 狭い地域にエリアがいくつもあること。
- 遠隔地のNAでは、サービスに関わるメンバーが不足していること。
- へんぴな地域にある刑務所が多いこと。
- 参加リージョンの間でさまざまなサービスを調整すること。

## ロシア語圏のゾーンフォーラム

ロシア語圏のゾーンフォーラム (RZF) は、当初、文献を利用する機会を公平にすべく誕生したが、それ以外にもやるべきことがたくさんあるとわかるまでに時間はかからなかった。現在では、H&I、PR、文献、文献翻訳などのさまざまな小委員会のほか、運営に関わる機関もできた。また、Webサイトの担当者もいて、サービスに関する資料のデータベースを管理している。

RZFの参加リージョンは、「ビッグ・モスクワ」、「ファー・イースト」、「ノースウェスト・モスクワ」、「ボヴォルジー」、「シベリア」、「ウラル」、「ウエスタン・シベリア」、「ウエスタン・ロシア」、「ブラックランズ」となっている。RZFは、年1回のゾーン アssenブリ (ゾーンの集



会)以外にも、さまざまなサービス(H&I、PR、文献)をテーマにして週末にかけてのサービスイベントも開催している。しかし今後は、そのようなイベントを全部ひとつにまとめて、サービス指向の大きなアセンブリにすることを考えている。

2015年には、この年にロシア/サンクトペテルブルグのNAが25周年を迎えることをきっかけにして、RZFはロシアンゾーナルコンベンションの構想を打ち立てた。そして、2015年に第1回のロシアンゾーナルコンベンションがサンクトペテルブルグで開催され、第2回は2017年にモスクワで開催された。ロシア語圏のゾーナルフォーラムについて詳しく知るには、[www.na-russia.org](http://www.na-russia.org)をご覧ください。

## サウスイースタン ゾーナルフォーラム

サウスイースタン(南東部)ゾーンでは、参加リージョンの代表が話し合い、最良の方法が取れるように助け合っている。そうやって共同で進めていることを、いくつか挙げてみよう。

- 参加リージョンのミーティングに関する情報はすべて、サウスイースタンゾーナルフォーラム(SEZF)が単一サーバーのデータベースで管理している。
- 無料のビデオ通話およびチャットのアプリを活用することで、当日の会議の議事録や、今後数回の会議予定がメール配信され、希望する都市や郡のメンバーと話すこともできる。
- 参加リージョンやエリアにはもれなく、ウェブ会議のソフトウェアを提供する。
- 一つの番号でリージョン全体につながる電話回線を設けることを目指す。
- ジョージア州アトランタで開催される「処方薬および薬物乱用に関する全国サミット」などに対する広報活動のために、参加リージョンが協力するとともに資金を出しあう。SEZFに関する情報や資料は、[www.sezf.org](http://www.sezf.org)のウェブサイトをご覧ください。

## サザン ゾーナルフォーラム

サザンゾーナルフォーラム(SZF)の地理的な領域は、バー

ジニア州リッチモンドから西へ1446マイル以上離れたテキサス州デル・リオまでと、テキサス州ブラウンズビルからミズーリ州の北端まで、全体で900,000平方マイルに及ぶ。SZFは、「アーカンソー」、「ブルーグラス・アパラチア」、「ケンタッキーナ」、「ローン・スター」、「ミシシッピ」、「レッドリバー」、「ショー・ミー」、「テハス・ブルーボンネット」、「ボランディア」の各リージョンに役立っている。

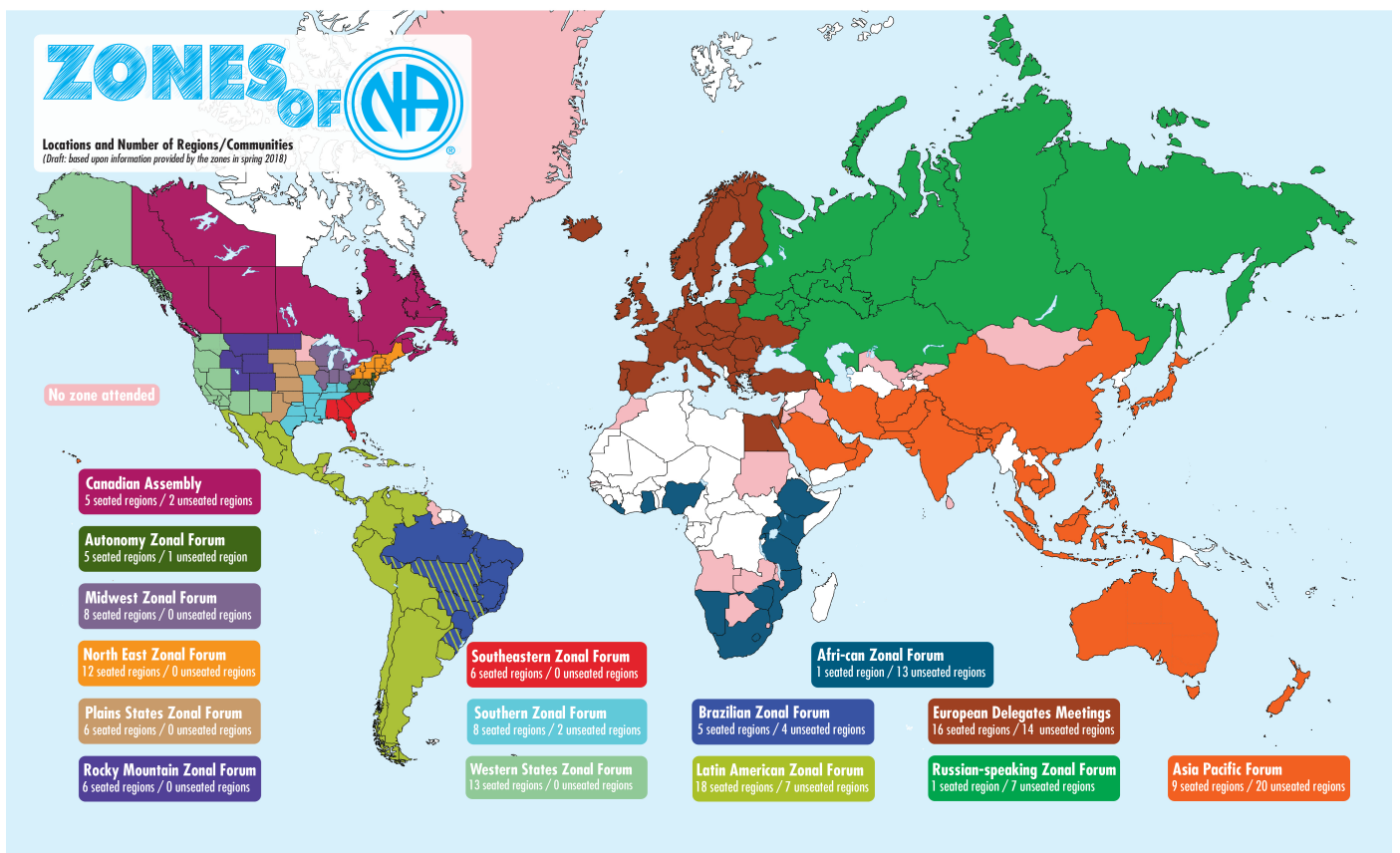
年に4回の会議では、参加リージョンがNA全体に影響を及ぼすことを議題に議論を重ねている。SEZFに参加しているリージョンは、サービスに関わるなかでの経験と力と希望をわかちあうことにより、NAの第一の目的を果たすことができるようになるかと信じている。SZFは意思決定機関ではないが、グループやエリアやリージョンから持ち寄った議題を取り上げることで問題解決に向かう議論をうながす場になっている。SZFについて詳しく知るには [www.szfna.org](http://www.szfna.org) をご覧ください。

## ウェスタン・ステーツ ゾーナルフォーラム

参加リージョンは、NAの第一の目的を果たすために協力し、意思疎通をはかり、指導し、計画を立てる。

WSZFには、「アリゾナ」、「カリフォルニア・インランド」、「カリフォルニア・ミッドステート」、「セントラル・カリフォルニア」、「ノーザン・カリフォルニア」、「パシフィック・カスケード」、「リージョン51」、「リオ・グランデ」、「サンディエゴ/インペリアル」、「シエラ・セージ」、「サザン・カリフォルニア」、「サザン・アイダホ」、「ワシントン/ノーザン・アイダホ」というリージョンが参加している。

直近のゾーナルフォーラムによる会議は、2018年1月にアラスカ州のフェアバンクスで開催された。参加者たちは、アラスカのノースポールで氷点下の温度と大雪に見舞われながら、地元の回復に関するミーティングにも参加した。





# CALENDAR

Multiday events and those occurring between publication dates are printed according to the schedule posted online. To enter events or to access event details, visit the online calendar at [www.na.org/events](http://www.na.org/events). (If you don't have internet access, fax or mail your event info to 818.700.0700, attn: NA Way; or *The NA Way*; Box 9999; Van Nuys, CA 91409 USA.)

## Brazil

**Rio de Janeiro** 20-22 Jul; Carioca Rio de Janeiro Regional Convention 19; Colegio Pedro II, Rio de Janeiro; [www.na.org.br](http://www.na.org.br)

## Canada

**Alberta** 1-3 Jun; Edmonton Area Convention 33; Radisson Hotel and Convention Center, Edmonton; [eana.ca](http://eana.ca)

**Nova Scotia** 16-22 Jul; Pig Roast and Campout; Blomidon Provincial Park, Canning; event info: 902.691.3424

**Prince Edward Island** 28-29 Apr; Clean & Straight Group Unity Days 19; Saint Paul's Parish Centre, Summerside [www.carna.ca](http://www.carna.ca)

## Colombia

**Armenia** 9-11 Jun; Colombia Regional Convention; Armenia; [nacolombia.org/web](http://nacolombia.org/web)

## Croatia

**Trogir** 8-10 Jun; Adriatic Regional Summer Convention 12; Hotel Medena, Trogir; [na-croatia.org](http://na-croatia.org)

## Denmark

**Skanderborg** 3-5 Aug; Convention & Camp 11; Audonicon, Skanderborg; [namidtyjylland.dk/konvent/index.htm](http://namidtyjylland.dk/konvent/index.htm)

## Germany

**Bremen** 18-20 May; German Speaking Convention 35; Saint Pauli Gemeinde, Bremen; <http://na-nord.de/conventions/>

## Greece

**Halkidiki** 15-17 Jun; Northern Greece Regional Convention 14; Camping Lacara, Sithonia, Halkidiki; [localconvention14thessaloniki@yahoo.com](mailto:localconvention14thessaloniki@yahoo.com)

## Indonesia

**Seminyak** 22-24 Jun; Bali Area Convention 18; Puri Saron hotel, Seminyak; [na-bali.org](http://na-bali.org)

## Japan

**Nagoya City** 22-24 Jun; Japan Regional Convention 14; WINC AICHI, Nagoya City; [jrcna.sakura.ne.jp/dgm24903/english-information/](http://jrcna.sakura.ne.jp/dgm24903/english-information/)

## Kenya

**Mombasa** 4-6 May; East Africa Convention 6-Free at Last; Baobao Beach Resort and Spa, Mombasa; [ea-na.com](http://ea-na.com)

## Norway

**Kongsberg** 25-27 May; Oksne Gathering; Oksne, Kongsberg; [nanorge.org/arrangementer](http://nanorge.org/arrangementer)

## Poland

**Krakow** 27-29 Jul; European Conference and Convention 34; EXPO Krakow, Krakow; [eccna.eu](http://eccna.eu)

## Slovakia

**Bratislava** 11-13 May; Czecho-Slovak Regional Convention; Vysoka skola sv Alzbety, Bratislava; [anonymnarkomani.sk/akcie/](http://anonymnarkomani.sk/akcie/)

## Ukraine

**Odessa** 18-20 May; Ukrainian Convention & Conference 2; Concert Hall-National Polytechnic University, Odessa; [uccna.org](http://uccna.org)

## United Kingdom

**Aberdeen** 26-27 May; East Coast of Scotland Area Convention; Hilton DoubleTree, Aberdeen; [ukna.org/event/east-coast-scotland-narcotics-anonymous-convention--promise-freedom](http://ukna.org/event/east-coast-scotland-narcotics-anonymous-convention--promise-freedom)

**Birmingham** 5-8 Jul; UK Convention 29; Birmingham Hilton Metropole, Birmingham; [convention.ukna.org](http://convention.ukna.org)

## United States

**Arizona** 25-27 May; Arizona Regional Convention 32; DoubleTree Paradise Valley, Scottsdale; [arizona-na.org/WP/?page\\_id=94](http://arizona-na.org/WP/?page_id=94)

**California** 1-3 Jun; Ride 4 Recovery Campout; Sierra Bible Camp, Canyon Dam; [naride4recovery.com](http://naride4recovery.com)

**2)** 29 Jun-1 Jul; Gold Coast Area Women's Retreat 31; Serra Retreat, Malibu; event info: 805.561.8656

**Florida** 4-6 May; Daytona Area Convention 19; Hilton Daytona Beach Oceanfront Resort, Daytona Beach; [dacna.org](http://dacna.org)

**Georgia** 22-24 Jun; East Coast Convention 22; Valdosta State University, Valdosta; [eccna.org](http://eccna.org)

**Hawaii** 25-28 Oct; Hawaii Regional Convention 26; [na-hawaii.org/na-hawaii/hawaii-regional-convention](http://na-hawaii.org/na-hawaii/hawaii-regional-convention)

**Illinois** 5-8 Jul; Iowa Regional Convention 35; Holiday Inn, Rock Island; [iowa-na.org](http://iowa-na.org)

**Kansas** 27-29 Apr; Mid-America Regional Convention 35; Ramada Downtown Hotel & Convention Center, Topeka; [marscna.net](http://marscna.net)

**2)** 6-8 Jul; Mid-America Regional Free Campout 39; Chautauqua Park, Beloit; [marscna.net](http://marscna.net)

**Kentucky** 29 July-1 Jun; Cleanfest 10; Blue Licks Battelfield State Park, Carlisle; [barcna.org](http://barcna.org)

**Louisiana** 25-27 May; Louisiana Regional Convention 36; Wyndham Gardens, Shreveport; [lrcna.org](http://lrcna.org)

**Massachusetts** 4-6 May; Celebration of Recovery 29; Island Inn, Oak Bluffs; [www.mvana.org](http://www.mvana.org)

**Michigan** 5-8 Jul; Michigan Regional Convention 34; Shanty Creek Resort, Bellaire; [michigan-na.org/mrcna](http://michigan-na.org/mrcna)

**Montana** 15-17 Jun; Montana Gathering 30; Symes Hot Springs Hotel, Hot Springs; [namontana.com](http://namontana.com)

**New Jersey** 1-3 Jun; Ocean Area Convention 9; Georgian Court University, Lakewood; shoretorecover.com

**New Mexico** 17-20 May; Rio Grande Regional Convention 29; Sheraton Albuquerque Airport, Albuquerque; rgrcna.org

**New York** 25-27 May; Unity from the Heart Convention 14; Holiday Inn, Liverpool; www.honyana.org

**2)** 1-3 Jun; Promise of Freedom Campout 10; Camp Scully, Wynantskill; thepromiseoffreedomcampout.com

**3)** 8-10 Jun; Rochester Area Convention 24; Rochester Riverside Hotel, Rochester; rochesterny-na.org

**North Carolina** 20-22 Jul; New Hope Area Convention 25; Marriott Downtown, Durham; newhopeconvention.com

**Ohio** 25-27 May; Ohio Convention 36; Hope Hotel, Dayton; ocna.fiveriversna.org

**2)** 6-8 Jul; Dayton Area Convention 12; Crowne Plaza Hotel, Dayton; dascna.org/service/convention

**Oregon** 8-10 Jun; Portland Area Convention 3; Jantzen Beach Red Lion Hotel, Portland; portlandareanaconvention.org

**Pennsylvania** 8-10 Jun; Tri-Area Convention 3; DoubleTree

GreenTree, Pittsburgh; Tri-Area.org

**2)** 21-24 Jun; Living Recovery Campout 10; Rickett's Glen, Benton; nabeehive.org

**South Carolina** 29 Jun-1 Jul; Gap Area Convention 25; Best Western University Inn Hotel, Clemson; crna.org

**Tennessee** 4-6 May; NA in May Campvention & BBQ Competition; Meeman-Shelby State Park-Piersol Group Camp, Millington; nainmay.org

**Texas** 27-28 May; Texas State Convention; Courtyard Austin Pflugerville, Pflugerville; tscna.org

**2)** 27-29 Jul; Recovery by the Sea 34; On the Beach, Corpus Christi; recoverybythesea.org

**Utah** 8-10 Jun; Southern Utah Area Convention 11; Hilton Garden Inn, Saint George; nasouthernutah.org

**Virginia** 25-28 May; Marion Survivor's Group Campout; Hungry Mother Lutheran Retreat Center, Marion; mfisher71@hotmail.com;

**Washington** 27-29 Jul; Seattle International Convention; Seattle Airport Marriott, Seattle; seattlenaconvention.org

## Coming Soon!

### Arabic

*It Works: How & Why*

إنه ينجح

Item No. AR1140 Price US \$9.00/7.90 €

### Bahasa Melayu

Basic Text (Fifth Edition)

*Narcotics Anonymous*

Item No. BM1101 Price US \$7.90/6.90 €

### Polish

*An Introductory Guide to NA*

*Wprowadzenie do Wspólnoty  
Anonimowych Narkomanów*

Item No. PL1200 Price US \$2.00/1.75 €

### Slovenian

NA White Booklet

*Narcotics Anonymous*

Item No. SL1500 Price US \$0.75/0.65 €





# 私たちの新しいウェブストアをよろしく！



NAWSの新しいウェブストアで、そんな未来をのぞいてください。アメリカ合衆国 (<https://cart-us.na.org>)、カナダ (<https://cart-ca.na.org>)、ヨーロッパ (<https://cart-eu.na.org>) にある私たちのウェブストアには、80を超える種類別に何千という商品がそろっています。こまめにのぞいていけば、新着情報がわかるでしょう。

ウェブストアに関する質問や、意見、気になることなど、みなさんのフィードバックを [customer\\_service@na.org](mailto:customer_service@na.org) へお寄せください。

## NAWS Product Update

### インドネシア語

#### IP #5: Sudut Pandang Lain

Item No. ID3105 Price US \$0.24/0.21€

#### IP #14: Pengalaman Seorang Pecandu dengan Penerimaan...

Item No. ID3114 Price US \$0.24/0.21 €

#### IP #19: Penerimaan Diri

Item No. ID3119 Price US \$0.24/0.21 €



### セルビア語

#### IP #1: Ko, šta, kako i zašto

Item No. SR3101 Price US \$0.24/0.21 €

### スウェーデン語

#### 2015 Membership Survey Medlemsundersökning

Item No. SW2301 Price US \$0.30/0.27 €

### ポルトガル語(ブラジル)

Revised versions of the Sixth Edition Basic Text

#### Just for Today Só por hoje

Item No. PB1112 Price US \$9.00/7.90 €



#### The NA Step Working Guides Guia para trabalhar os Passos de NA

Item No. PB1400 Price US \$8.50/7.50 €

#### Information about NA Information om NA

Item No. SW2302 Price US \$0.30/0.27 €

